

## 啓発活動

### 警察署訪問について（総括）

～知的障害者への理解啓発について（お願い）～

師走の大変お忙しい中、啓発活動に伴う「警察署訪問」を実施いたしましたところ、3日間で延べ50名の参加者がありました。本当にご協力ありがとうございました。

これは、日頃からみなさんの「知的障害者への理解啓発」に対する関心が高かったことだと思います。今回の警察署訪問は、岡山地区連絡協議会の役員で実施したものでなく、会員の大勢の方が参加して陳情を行ったことに大きな意義があると思います。また、会議で「決めたこと、決められたこと」をみんなで守ったことは岡山地区連絡協議会の組織基盤構築に大きな役割を果たしたものと思います。そして、これからの運営活動に大きな力になるものと確信いたします。一つ一つの積み重ねが大きな財産になっていきます。

さて、今回7ヶ所の警察署訪問陳情で感じたことを下記のとおり記述をして総括（まとめ）といたします。なお、訪問警察署・訪問者等は、別紙「警察署訪問スケジュールについて」を参照ください。

#### （記）

#### 1. 全体的なこと

- 温度差は多少あるものの、各署とも好意的な対応であったと思います。
- 障害者を差別するようなこと、また、そのような気持ちは持っていません。みなさんと同じ気持ちで接していますよ。

#### 2. 共通的なこと

- 6月に県育成会が県警本部へ陳情した「知的障害者への理解啓発について（お願い）」が、県警本部から各警察署に周知徹底がされていた。
- 各警察署とも、警察庁長官官房人事課（教養）からの「人権に配慮した警察活動のための手引」によって指導が行われている。  
この手引き書の中には、障害者との取り組み方（扱い方）がマニュアル的に書かれている。（各警察署）。

#### 3. 現在行っていること

- 県警本部からの書類（県育成会からの陳情書）をコピーして派出所・駐在所へ配付をして指導を行っている。
- どうしましたか？/MAYI HELP YOU?  
トイレ 電話してほしい 痴漢にあった などられた 等々を  
絵で表したパネル（A3版ぐらい）をつくって派出所・駐在所で活用している/玉野署

#### 4. 警察署からの要望

- 行方不明の場合は、出来るだけ早く（早めに）届けてほしい。日没、夜になると捜査の範囲も狭くなってくる。ライトの範囲内になってしまい難しくなる/各警察署
- 携帯電話やそれに代わるものを所持していれば、所在確認に効果があるのでは/岡山西署・赤磐署
- 地域とのネットワークづくりをおこなったらどうですか。努力してほしい/岡山西署
- 知的障害者とわかるもの（療育手帳）を所持していれば、万一の場合、知的障害者と認定し減刑を考慮した調書を書くことも可。/岡山南署
- 初動捜査の段階では、障害者も普通の人も同じで区別は出来ない。その後、障害者とわかれば、障害者としての対応をする/岡山西署
- 今日もらった資料で、個人情報に触れない範囲のものをコピーをして派出所・駐在所に配付し、指導と周知徹底を図りたい/岡山西署

#### 5. 障害者のシートベルト着用の件（療育手帳を提示すればシートベルト付着用OKの件）

- 免除の規定はない、名文化されていないので現場にOKの指示は出せない。病気等については、名文化されている。規定の「その他」のところを考えるだけだ。現場では、取り方で差が出てくると思う。  
それよりも、シートベルトの着用の目的、相手のことも考えてほしい。/西大寺警察署

#### 6. 首かけ名札の件（岡山地区連絡協議会～）

- 先に、県育成会が県警本部に陳情した際に、知的障害者とわかるものがあればということで、首かけ名札（療育手帳のコピー入り）を取り入れ推進中です。但し、個人情報、権利・差別等の問題で任意としていますので全員がしていないことも事実です。

以上（文責：福田）

警察署訪問スケジュールについて

～ 知的障害者への理解啓発について (お願い) ～

訪問警察署 面談者	訪問日時	訪 問 者	訪問 人数
岡山西警察署 石山 副署長 (警視)	12/17 12:45	桂木 代表 土肥 副代表・石原 副代表・福田 副代表・道繁 幹事 昭和町仲よし家族の会・エスポアール家族会・ 岡山県立おかやま福祉の郷かえで寮家族会	8
岡山南警察署 高見 副署長 (警視) 末房 生活安全課長 板野 生活安全第二係	12/17 14:00	桂木 代表 土肥 副代表・石原 副代表・福田 副代表・太田 幹事 ディセンターさくら家族会・ (岡山市手をつなぐ育成会)・(泉の園家族会)	6
西大寺警察署 加藤 副署長 (警視)	12/17 15:00	桂木 代表 土肥 副代表・福田 副代表	3
岡山東警察署 三ノ上副署長 (警視) 外1名。	12/17 16:00	桂木 代表 土肥 副代表・福田 副代表・渡邊 監事・太田 幹事 弘徳学園家族会 (7名)・旭川児童院家族会・ みどり学園父母の会 (吉備ワークホーム家族会)・(桑野ふれあい家族会)	14
岡山北警察署 松井 次 長 (警部)	12/19 11:00	桂木 代表 土肥 副代表・福田 副代表 建部町心身障害者 (児) 親の会・泉の園家族会 (吉備の里通勤寮家族の会)	5
赤磐警察署 三浦 次 長 (警部)	12/19 13:30	桂木 代表 土肥 副代表・福田 副代表・金子 幹事 閑谷ワークセンターせと保護者会・瀬戸町手をつなぐ育成会	6
玉野警察署 国見 署 長 (警視) 山本 副署長 (警視)	12/22 13:15	桂木 代表 福田 副代表・山岡 幹事 しらす工房保護者会・のぞみ家族会 (4名) (玉野市手をつなぐ育成会)	8
			50

♡ ご協力ありがとうございました !

警察署 殿

岡山県手をつなぐ育成会  
岡山地区連絡協議会

知的障害者への理解啓発について（お願い）

平素、知的障害者をはじめ、地域民の安全な生活の保持のために献身的にご尽力をいただき、深く感謝いたします。

わたしたちは、知的障害者の教育や社会福祉の向上そして障害者の幸せ、豊かに暮らせる社会の実現を目指して日夜活動をしている親の会の団体です。  
この団体は、岡山市、玉野市、吉備中央町の中にある、地域団体・施設・学校・作業所、相談員そして、本人たちの約54団体で「岡山県手をつなぐ育成会岡山地区連絡協議会」として構成されています。

さて、平成18年度から障害者自立支援法が施行され、本年で3年目を迎え、知的、身体、精神のいずれの障害者も同じ福祉サービス体系で一元化され、また施設から地域生活への移行が推進されています。

地域で生活をしていくためには、まず、安全で安心に暮らせることが必要であり、周りの人々の理解と支援が不可欠であります。

しかしながら、地域民をはじめ、各機関において障害者への理解はまだ十分に進んだものとは言えない状況にあります。

わたしたちの地域の中で起きた話の一部ですが、グループホームを利用している、放浪癖の常習者をいつも安全に身柄を確保していただいたと感謝の意を寄せている者もいます。このほか、警察のみなさんには、いろいろ助けていただいたと感謝が多く寄せられていました。しかし、いづらか、障害者に疑いをかけられたことも散見されました。

知的障害者は、

- (1) 相手に意思が伝えにくい。
- (2) コミュニケーションが不得意である。苦手としています。
- (3) 情緒不安定である。大きな声で話すとパニックになりやすい。

以上のような特性をを持っていることから、とかく誤解を受けやすい立場にあります。

これから、地域で障害者が安心して暮らせるようにするためにも、地域における警察署の協力と理解はより一層必要になると感じております。

県では、「安全・安心まちづくり」に取り組んでおられると伺っております。わたしたちも親の会といたしましても、これは心より念願するものであり、警察署みなさんのさらなるご尽力をお願いする次第です。

これからも、わたしたち親の会は、知的障害者への理解を深める啓発活動をさらに展開していく所存です。

警察署におかれましても、この知的障害者の特性のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(添付参考資料)

- ・ 岡山県手をつなぐ育成会岡山地区連絡協議会の組織図 1部。

以 上